

公民科「政治経済」学習の意義を公民科「公共」との関係から論じなさい。

【解答】

文部科学省編「高等学校学習指導要領（平成 30 年度告示）解説」によれば、公民科の目的は「社会的な見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す」とある。中学校段階での「社会」の目標と大きく変わらないが、高校では地歴科と公民科に分かれるので、とりわけ公民の目的の中に、「現代の諸課題」というキーワードが加えられているのが特徴である。

そして、「公共」は、とりわけ公民科の目的の冒頭の「社会的な見方・考え方」を重視した編成となっている。教科書の最初に「公共の扉」が新設され、人間と社会の在り方についての見方・考え方を養成するために、哲学的な対話が取り入れられている。実教出版の教科書「公共」の章立てを見ると、最初は「社会を作る私たち」、次に「人間としてよく生きる」、そして「他者とともに生きる」「民社会の倫理」と、個人が生きることへの問い立てに始まり、他者と生きること、そして社会の中で生きることと、視野を広げながらも、「倫理」的なアプローチで人間と社会の在り方に迫っていく。

平成 30 年版の学習指導要領では「公共」が必修科目とされ、入学年次または次の年次の 2 年間で履修が義務付けられた。「政治・経済」は、この「公共」を履修したのちの選択科目の一つとなっている。この科目構成の変化は、ただの履修基準の変化だけでなく、「政治・経済」という科目の位置付けや意味の変容も意味する。すなわち、「基礎」としての「公共」に対して、「政治・経済」は「応用」「展開」科目として位置付けられる。前述した公民科の目的の前半部を主に「公共」や「倫理」が重視するのに対し、「政治・経済」は公民科の目的の後半部を重視する位置付けとなる。また、小学校から開始された政治・経済に関わる学習の最後に位置付き、高校から一般社会へと繋げるための科目として役割が与えられることになる。

学習指導要領の中で、公民科目「政治・経済」の目的（1）として、「社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする」とある。「現実社会の諸課題の解決に向けた探

究と理論の理解、まとめる技能」などに重きが置かれている。

また、目的（2）では、「国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養う」とある。目的（1）を踏まえて、「課題を把握して説明する力や構想力、妥当性や効果などを指標にして、合意形成や社会参画に向かう力」とかなり踏み込んだ表現で、小学校から始まった社会教育の最終段階としての主権者のあるべき姿について記述されている。

目的（3）では、「よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める」とある。公民科の目的の後半にある「グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力」の完成を意識したものとなっている。

まとめると、「公共」が「倫理」的なアプローチから、人間と社会のあり方から始まる科目であるのに対し、「政治・経済」は、選挙権を得て、社会に出る直前の高校2・3年生で履修する科目である。「公共」科目の応用・展開として、主権者としての態度や行動に踏み込んだ実践編としての性格を有している。その違いに気づかず、教科の中で教員間の連携が取れていないと、旧学習指導要領の「現代社会」や「政治・経済」と同じことを繰り返してしまう。令和7年度の共通テストから「公共、倫理」「公共、政治・経済」となった意義を損なうことになる。

どちらも公民科の目標の中に位置付けられ、そして小学校、中学校の社会の連続性の中にあることを意識し、よりよい社会の有為な形成者を育てるという観点を大切にしたい。

文字数：1930 字

【引用・参考文献】

- ・ 文部科学省『高等学校学習指導要領解説公民編』文部科学省, 2018
- ・ 文部科学省『中学校学習指導要領解説社会編』文部科学省, 2017
- ・ 社会認識教育学会編『中学校社会科教育・高等学校公民科教育』「高等学校公民科『政治・経済』の学習指導・評価」学術図書出版会, 2020, pp. 126 参考
- ・ 東京都高等学校公民科「倫理」「現代社会」研究会編『「公共の扉」をひらく 授業事例集』清水書院, 2018, pp. 22 参考
- ・ 実教出版編・文部科学省検定済教科書『公共』実教出版, 2024